

# 未来へつなげよう おいしい食卓！

大和郡山市田中町 913-3 TEL:0743-58-5225

12月供給高 5,961万円 (前年比 111.4%)

12月組合員数 3,055人 (前年比 101.3%)

検索してみる

生活クラブ奈良

## 無農薬・無化学肥料で栽培された野菜を実感

やさいBOXの生産者の一つ 伊賀有機農産供給センターにて  
11月21日 理事・職員研修



朝から晴れ渡った空が広がり、冷えて澄み切った空気に身体が引き締まる。ナカマドの葉は、鮮烈な紅に染まりながら風に揺れ、遠くまで伸びる畝はその果てを隠すようにどこまでも広がっている。私たちの訪ねた圃場には肉厚で濃緑色のホウレンソウ、胡麻のような香ばしい風味いっぱいクレソン、少しの苦味が澄んだ空気に合うナバナ、葉が幾重にも巻くハクサイ、その根が一直線に土の奥深くに向かって伸びているダイコンやニンジンが。どの冬野菜たちも、伊賀の大地を思う存分謳歌しているように。

### 土を観て、有機肥料を

「有機肥料だからと言ってたくさんやればいいというものではない。チッ素やカルシウムなど土の成分のバランスが大事であり、常に土を『観る』ことが必要である。それを怠ることは、肥料過多による環境汚染に繋がりがかねない」と。土の状態は植える作物や気候環境によって日々変化するもの。注意深い観察力が問われる。

### 農作物を育てる楽しさを

「コロナ禍において世の中はリモートが主体となり、人と人がリアルに会って話す機会は減り、生産者と消費者の溝は深まるばかりだと生産者は危惧する。農作物を育てることの楽しさをもっと多くの人に知ってほしい。その一方で、年々温暖化していく気候とともに、今までの常識が通用しなくなり、その年の気候に合わせた対応と、より多くの知識が生産者には求められる。消費者である私たちは、簡単に手に入る情報に基づいた価値観のみで、生産者を図ってはいるだろうか。光も空気も土も生物も。畑の見学に同行した小さな子どもたち。小さな身体でニンジンをかきつばい引き抜く姿に未来への希望を垣間見ることができた。帰路に着くと、頂いた乾燥大豆のサヤにカマキリの卵が。何百という数の赤ちゃんが生産されるであろう、やがて巡ってくる暖かい春を待ち侘びながら今回の研修に思いを馳せたい。」

(理事 夏目有香)



現地では、各生産者の畑を視察し野菜の収穫体験をしました。日頃、土に触れることのない職員には貴重な経験でした。

「本音は一生涯命育てた野菜だから組合員に食べてもらいたいし、出荷したい。でもこの虫喰いの野菜が届いた組合員はどう感じるだろうか」という生産者の言葉が印象に残りました。

私が案内された畑にはターサイが植わっていましたが、残りはそのままでした。「この残ったターサイはこの後どうなるの？」と尋ねると、「自分たちで食べる以外は鶏の工サになる」とのことでした。確かに虫喰いで可食部がほとんどないものもありましたが、この程度なら収穫して出荷できるのではないかと、思うものも多くありました。

無農薬の野菜が食べたい組合員と、日々天候や自然災害と闘いながら無農薬・無化学肥料で栽培されている生産者の間を、職員としてどのように繋げていくべきなのかを考えさせられる一日となりました。

(共同購入運営課 木下 義則)

## エリア活動報告

エリア活動はコロナ禍の中で、「大勢の人と人が直接集まる」というこれまで当たり前だった活動ができない現状です。しかし、その現実を受け止めて、私たちに何ができるのか議論を重ね「今できる活動」としてオンライン生産者交流会と3密をさけての小さなお話を開催しました。

### 【活動内容】

- \* 奈良エリア: オンライン生産者交流会  
・10/27(エスケー石鹸㈱)・12/5(私市醸造㈱)
- \* 生駒エリア: オンライン生産者交流会  
・10/9(㈱精華堂霰総本舗)
- \* 中南部エリア: 少人数によるお話し会  
・10/23(橿原市)

### 【今後の活動予定】

- \* 奈良エリア: エリア総会 2/9
- \* 生駒エリア: エリア総会とオンライン生産者交流会 2/10(㈱オルター・トレード・ジャパン)
- \* 中南部エリア: 四方山はなし 1/25のエリア総会 2/9

(講演会の後、奈良エリア、中南部エリア)では「エリア総会」開催予定です。

「生活と自治、NHKきょうの料理」でお馴染みの!

## 枝元なほみさん 講演会

【全組合員対象】

2月9日(火)10:00~11:30 オンラインにて「料理研究家 枝元なほみさん講演会」開催

ご協力  
ありがとうございました

### 「主要農産物の種子の安定供給に 関する県条例の制定を求める」署名

2020年10月私たちは「主要農産物の種子の安定供給に関する県条例の制定を求める」署名を呼びかけ、497筆を集めることができました。そして、他団体と共に12月15日奈良県議会議員に1209筆分の署名を提出してまいりました。

2018年4月「主要農産物種子法」(種子法は、米や麦、大豆といった主要作物について、優良な種子の安定的な生産と普及を、国が果たすべき役割と定めている法律で、種子生産は都道府県、JAなどが担ってきた)が廃止されたと同時に、奈良県は「種子法実施に関する規則」を廃止し、種子生産に関する審査、証明業務を社団法人奈良県米麦改良協会に移管しました。

そのことを受けて今までのような種子事業に対する予算の確保、農家には地域に合った作物を作る自由、消費者にもどんな種子の作物を食べたいかを選ぶ権利(いわゆる食料主権を守る)の侵害が懸念されます。従って外部に種子管理を移管するのではなく「地域で受け継がれてきた種は自分たちで守っていく」持続可能な農業のための条例を制定してもらうことを県に要望していきます。

(理事長 甲斐京子)

# 「2050年カーボンニュートラル」ビジョンの実現性は？

10月26日、菅内閣総理大臣は所信表明演説で「菅政権では成長戦略の柱に『経済と環境の好循環』を掲げ、グリーン社会の実現に最大限注力していく」と述べ、「我が国は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことをここに宣言する」と表明しました。

地球温暖化対策の国際ルール「パリ協定」の目標を達成するためには、2050年までに世界全体で温室効果ガスの排出を、森林などに吸収される分を差し引いて「実質ゼロ」にする必要があり。約120カ国が「2050年実質ゼロ」を掲げる一方、日本はこれまで「2050年までに80%削減」とどまり、主要7カ国(G7)で「実質ゼロ」を表明していないのは日本とアメリカのみでした。アメリカのバイデン次期大統領も大統領選で「実質ゼロ」を公約に掲げています。日本が取り残されないためにせざるを得ない「宣言」だったのでしょうか…。

長年続けてきた石炭火力発電については世界からのバッシングもありますので、抜本的な政策の転換は実現していくと思われませんが、イコール「2050年までに再生可能エネルギー100%」というわけではなさそうです。宣言に続く「省エネルギーを徹底し、再生可能エネルギーを最大限導入する」とともに、安全最優先で原子力政策を進めることで、安定的なエネルギー供給を

## いつもの電気を生活クラブでんきに！

### 私たちにできること再生可能な国内自給エネルギーを選ぶこと！

2050年までに温室効果ガス排出ゼロを実現するには、国のエネルギー政策の大変革は必須です。いきなり全ての電気が「再生可能エネルギー100%」になることはありませんが、政府の政策によっては急激にほとんどの電気が「原発由来」という可能性はあります。

私たちは福島第一原発の事故により、原子力発電はいざとなった時にコントロールできない、長きに渡り多くの人の生活を破壊する

2050年までに温室効果ガス排出ゼロを実現する果敢な「脱炭素社会」を実現するために、「エネルギーの使用を減らすこと」「再生可能エネルギーを作ること」「使うこと」を掲げて電気の共同購入に取り組んでいきます。

生活クラブでんきを使う人を増やす地道な活動であり、効果が出るまでに時間がかかるかもしれませんが、確実に広げていきましょう。

（専務理事 城本 豊）

目指します」との言葉からすると、再生可能エネルギーが何%であっても「これが最大限でした」と説明できる内容です。

将来、電気自動車ばかりになったとしても、現在の石炭火力発電の割合が高い日本では二酸化炭素の削減

は難しいでしょう。電気自動車を作るための電気、走行するための電気をどうやって作るのか？脱炭素社会の実現を目指すという宣言が、原子力発電の継続や拡大につながっているような気がしてなりません。

## 一人ひとりの「ねがい」を出しあって

総代会では、生活クラブ奈良としての次年度の予算や事業、活動方針などの重要事項を決めていくのですが、そこには、組合員一人ひとりの意思が反映されていなければなりません。総代会で決まった方針通りにきちんと運営されているかどうかの確認も総代の役割です。

皆さんが日頃疑問に思うこと、感じることなどの意見を出し合うことで、それらが組合員の声となり、生活クラブ奈良の方針がより

幅広く豊かなものになっていきます。暮らしを守り、よりよくしていこうという思いは組合員一人ひとり同じものをお持ちなはず。そんな組合員の「ねがい」を実現するためにも、より多くの方々に組合員代表として総代という役割を担っていただくことで積極的な運営参加にご協力頂きたいです。総代会で初めて出会う誰かが、自分の同志であることって素敵だと思いませんか。（理事 夏目有香）

## 困ったときに浮かぶ文字は「エッコロ！」



エッコロたすけあい制度

11月21日 スタート

ようやくエッコロたすけあい制度がスタートしました。スタート時の加入者は75名。予定していた100名には届かない始まりとなりました。エッコロたすけあい制度は組合員同士がちょっとした困りごとをたすけあう仕組みです。加入組合員が少しでもお手伝いできればという思いでケア者（お手伝いできます）登録を積極的に申請していただいています。

身近に知り合いがいなければ、委員会メンバーが中心にケアをコーディネートします。その時、ケア依頼をする組合員はどのような人がかわつてくたさるのか不安なことがあると思います。生活クラブの組合員という共通点のある人がお手伝いをしてくれます。安心感を持っていただけたらと思います。

エッコロたすけあい制度は地域での結びつきを、強く意識しています。11月のスタートを前に奈良・生駒・中南部エリアのそれぞれで、委員会メンバーとエッコロ加入者との交流会を開きました。加入したけれど、実際どういふものなのか、私一人の力ではどう必要とされているのか、自分の周りに仲間がいるのかなど不安や疑問を話し合い、安心して仲間とともに活躍できることを確認しました。

今はまだ保障内容が少ないですが、加入者が増えれば保障内容を充実させていくことができます。皆さんエッコロ仲間になり、一人ひとりの輝く活動と絆を深めていきましょう。（担当理事 合田淳子）

## 簡単お料理レシピ

### 「ほたてご飯」

#### 材料（米2合分）

- 北海道産ベビー蒸しほたて 200g
- 昆布 5~6センチ（そのままでも切っても）
- 醤油 大さじ2
- 酒 大さじ1

#### 作り方

- ①ほたては解凍しておく。水っぽい場合はフライパンで空煎りする。
- ②研いだ米と材料を全て入れて普通に炊く。
- ③炊き上がりに細く切ったノリを散らすとさらに美味しい。



#### 編集後記

皆さんはどんな「ふきん」をお使いですか？キッチンで使う台拭きの事です。私は奈良県産の蚊帳生地を使用し平織りのものをよく使っています。今はいろんなブランドとコラボした素敵な柄柄が出ていますね。作家が随筆の中で書かれていたのがこの「ふきん」のことです。人生に一つこれだけは守り続けていきたい！と思われて「ふきん」だけはいつも真っ白にさせておきたい！と書かれていました。

何か？これだけは：と言うものを持っているのはいいことです。とありました。私も何かあるかなあ？と考えました。やはり食のことでした。たまには手抜きもするけれど、なるべく料理する！四十数年前に千里山生協に加入。奈良に住み奈良で「生活クラブ」を見つけました。これからは出来る限り安心で中身の分かる物を食べ続けたいです。（野口八重子）